

# 花 橘

大ピンチな話

事務長 西村 浩則

発行日

令和8年1月27日

第11号

発行・編集

三崎高校総務課

「大ピンチずかん」という絵本がはやっているらしい。大ピンチをあらかじめ知っていれば、いつ大ピンチになっても慌てないで済むとのこと、子ども達に大人気の絵本となっている。私も書店で手に取って読んでみると、日常生活の中で一度は経験したことのあるような大ピンチな出来事が描かれており、思わず吹き出しそうになるユーモアにあふれる絵本であった。私も若い頃、大ピンチに遭遇したことは多々ある。一つ紹介したい。

今から二十五年前、私は八幡浜の教育事務所で働いていた。昼食後、事務所の休憩室で横になり休養することが多かった。その日は疲れていたのだから。午後の勤務開始は一時からなのだが、うつかり寝過ごしてしまい、目が覚めると一時三十分を過ぎていた。寝過ごした・・・大ピンチである。畳の上で、しばらく私はどうするか考えた。おそらく所内では、午後から私が席を空けていることに對し心配しているに違いない。上司にどこで何をしていたのか聞かれることは間違いないだろうと考えていた私。どう答えようか考えてみたが、早く自分の席に戻ったほうがいいなと思ったので、何食わぬ顔で自分の席に座って仕事を始めた。上司から何か言われるかなと内心ドキドキしていたが、ある程度時間が過ぎて誰も声をかけてこない。ひよつとして、自分は居てもいなくても気が付かれない空気のような人間なのか・・・残念な気持ちになりつつ、ふと気が付いた。この教育事務所という職場は、他人のことを気にする暇もないくらい忙しいのである。あちこちの課でひっきりなしに管轄の小中学校から電話が鳴って対応している。結局、何事もなくその日は終わった。今回のことを反省し次回からの対策として、昼休みに寝なければなんの問題もないのだが寝てしまった場合、携帯のアラームをかけて起きるようにした。

私は現在にいたるまで、多くの大ピンチから失敗を経験してきた。社会に出て組織の一員となると、絶対に失敗できないこと（他人の人生を左右することや人の生死に関わること等々）もあるのだが、人間である以上、なんらかの原因により失敗することはある。理不尽なことはどうしようもないが、経験上、たいていの失敗は知恵と工夫で防げるものである。また、たとえ失敗してもその失敗から学びと発見があれば次につながる。個人的にはそれはいい失敗だと思ふ。若い皆さんは今後の人生において、色々な大ピンチから失敗を経験することが少なからずあると思う。困難を乗り越え、自分の成長につなげてほしいと願う。そしてより良い人生を歩んでほしい。

## 未咲輝-SENTAN-発表会

1月23日（金）に未咲輝-SENTAN-発表会が行われました。今年は寒さ対策の観点から、オンライン配信で行われ、各教室からの視聴となりました。2・3年生総合的な探究の時間の成果発表会では、各グループの探究活動での学びや報告が行われました。来年度から探究活動を行う1年生からは多くの質問があり、積極的な姿勢が見られました。また、個人探究活動の成果発表も行われ、三崎高校生の活躍の姿から刺激を受けることができたと思います。今年度の学びを生かして、来年度さらにブラッシュアップされた探究活動になることを期待しています。



## 開校記念行事

1月16日（金）は開校記念日でした。そして、1月23日（金）に開校記念行事が行われました。伊方町教育長の中井雄治様をはじめ、多くの来賓の方々に御来場いただきました。スピーチコンテストでは、各クラス1名の代表者が「三崎高校と私」をテーマに自分の思いを熱心に伝えました。4月から3年生は新生活が始まり、1・2年生は一つ学年が上がります。この機会にこれまでの学校生活を振り返ってみてください。自己の成長や学びを改めて自覚することで、来年度の目標が明確になり、きっと有意義な生活を送ることができるでしょう。



### スピーチコンテストの結果

最優秀賞	3年2組	菊池	里緒
優秀賞	2年2組	大西	奏穂
	1年1組	石井	岳光
	1年2組	桑原	波花
	2年1組	横山	絢華
	3年1組	谷村	龍信